

<会見後囲み取材>

ロッキー小川

――改めて、新団体旗揚げに至るまでの経緯・心境を教えてください

「色んなことがあったんですけど、結局はやっぱり『最後は自分でやりたいな』って思いが一番強かったですね。まだまだ自分が出来るって可能性が自分で分かってるんで。それだからみんな覚悟を持って集まってくれたと思っています。ここに来るまでに色んな壁や波や色々な物があって、みんなそれを乗り越えてきてるんで。それはさっきのアクトレスの子たちもそうだと思うんですけど、中々ね、その決断って出来ないですよ。それをみんなしてくれたんで、非常に感謝しています」

――アクトレスガールズから来た選手は、マリーゴールドの所属となるのでしょうか

「さっき来たばかりなんで、まだちゃんと話が出来てないんで」

――今日のところは、所属を直訴しに来たという段階だということでしょうか

「そうですね」

――アクトレスガールズの公式 X (旧 Twitter) では怒りのリリースが出ています

「別にそんなこと気にしてもしょうがないじゃないですか (笑) もうね、1 回言われたら 2 回言われても 3 回言われても一緒ですよ、ハッキリ言ったら (笑) でも真実はここにあるんで。これからの試合を見てもらえれば、それでファンの人たちが選んでくれればいいと思います」

――スターダムの EP 時代に出来なかったこと、これからやっていきたいことを教えてください

「スターダムの時代は、最後ブシロード体制のときはほとんどマッチメイクしかしてなかったんで、運営というかそれだけをやってました。それだけで終わっちゃう自分もイヤだったんで、このタイミングでこうなったっていうのはありますね」

――マリーゴールドでは、会場選びからなにから手掛けていると

「そうそう。今全部やっていますよ。全部。選手 1 人 1 人とは面談してるし、会場も決めてるし。まず最初の箱詰め料理は自分がやって、ある程度形が出来てしまえば人に振っていくって形ですね」

――会見では“昭和”という言葉も出ましたが、団体としての方向性については

「令和の一番新しい団体だと思うんですけど。その中で、昭和のエッセンス。昭和ってのはメ

チャクチャで、ハチャメチャで、それでいて明るくて。そういうものを入れていきたいなって。全部昭和じゃなくて、令和の中に昭和的な要素もあった方がプロレスを見る上で面白いんじゃないかなと思って。だから、コンプライアンスの時代になってからレスラーがサラリーマン化しちゃってると思うんで、そうじゃなくて『プロレスラーはリングでは自由なんだ』ってところを見せてほしいです」

——小川さんはゴージャスで派手なものが好きというイメージがあります。マリーゴールドは非常に庶民的な花ですが、なぜこの花の名前を選んだのでしょうか

「マリーゴールド、あいみょんが好きだったんですよ（笑）それはキッカケで、マリーゴールドって言ったら、ウチの外国人スタッフが『それは最高にクールな名前だ』って。色んな意味があるし、ビビッと来たんでマリーゴールドに決めました。色んな花言葉があるんで、マリーゴールドには」

——スターダム旗揚げメンバーの高橋奈七永選手、風香さんが集まっての新団体旗揚げとなりました

「やっぱりみんな集まってくるんだなって。そういう感じがしたなあ、なんか。まさか風香まで集まるとは思わなかったし。だからそれが縁であり、なにかで結ばれてるんだなど。かといって、スターダムの焼き直しをするつもりもないんで、また新しいメンバーで世界観を作っていきます」

——風香さんはなにかの役職に就かれるのでしょうか

「いやいや、さっきのことなんで。そこまで具体的な話はないんで（笑）でも、やっぱり風香がナビゲーターみたいになってあんだけの人数をここに連れてきたんだから、それなりに風香にも頑張ってもらいたいって感じがします。だから、スターダム初期の、小川・風香・奈七永っていうのが揃っちゃったんですね、ここでね。なんの因果か縁か分かりませんが」

——旗揚げ戦メインに出る“X”は、今日の会見に出ていた選手か、そうでない選手か

「今日アクトレスが現れて、ようやく陣容が見えてきた。それまではあんまり見えてなかった。だからこれから練っていくんですけど、まあXの予定はこの中にいない人もいます」

——アクトレスガールズから来た選手たちは、普段グラドルや声優・女優といった活動をされています。小川さんとしてはプロレスに専念してほしいと思いますか

「いやいや、別に構わないですよ。今の時代は『こうじゃなきゃいけない』ってのは無いんです。彼女たちのスケジュール調整で別にプロレスやるときはプロレスやるでいいし、他の仕事をやるなら他の仕事をやった方がいいし。その辺は自由にしたほうがいいと思います。彼女たちの個性を削ってもしょうがないんで」

——合宿所や練習場などの施設面についての現状はどうでしょう

「もう寮は出来てます。道場は、これからリングを作るんで、リングが出来上がったくらいに道場を。夏までに構えたいと思っています」

——道場の場所の候補地は決まっていますか

「まだですね」

——スポンサーはどのような企業が付くのでしょうか

「スポンサーなんていないですよ。私が老後のために貯めといたお金で」

——本格的なスポンサーはこれから募っていきますか

「どこまでがスポンサーっていうのかは分からないですけど、例えばコーナーポストにロゴを入れるとか、そういうのはちょこちょこ集まってますね。ただ、サイバー（CyberFight）の配下になったわけじゃないんで。配信サイトが WRESTLE UNIVERSE っていうだけで」

——WRESTLE UNIVERSE で流れたということで、想像力が豊かなファンは DDT や東京女子プロレスと絡んでいくことを期待していると思います

「それはね、飛躍し過ぎ。全然そういう段階ではないし。こないだ Abema タワー行ったんですよ。いや、ブシロードの 10 倍くらいデカかったですよ（笑）」

——ジュリア選手が NOAH に参戦することが決まっていますが、今後も色々な団体と関わっていくのでしょうか

「いや、していきません。基本的には鎖国です。ただ、自分たちがまだ打てないビッグマッチをやるとかだったら応じるし、なにかの縁があって、っていうのは受けますけど基本的には自分たちだけでやっていきたい。ただ、他に出ることもあると思うんですけど、団体間の交流をしたいとは思ってないです。それをしてしまうと、団体のブランド力が薄まってくんで」

——最初のビッグマッチの予定はいつでしょう

「夏ですね」

——月にどれくらいのペースで大会をやっていくのでしょうか

「今日発表したので言うと、6月は8大会。まあ MAX は8大会で。まあ、7~8かな」

——ジュリア選手がレッスルマニアウィークで注目を集めていましたが、WWE との関係値

は

「それは向こうが発表するんじゃないですか？」

——WWE とマリーゴールドは密接な関係になっていくのでしょうか

「これを含めて、自分からはどういう形になるか分からないんですけど……すごく良くしてくれます。今回向こうの招待で行って来ましたし、そういう意味では自分が今までイヨとかカイリとか、ジュリアとかを育ててきたことを向こうが買ってくれてるんで」

——今回 Sareee 選手の参戦が発表されましたが、今後もフリーの女子選手は参戦していくのでしょうか

「数人だったらあるんじゃないですか？たくさんになってしまうと団体のカラーが見えなくなってしまうんで。Sareee とジュリアは前から待望視されてたんで、それもアリかなと」

——ファンが気にしているところだと、物販の体制はどうなっていくのでしょうか

「物販はね、これはまだハッキリ決まってないんですけど、突然やるって言うてみたりするかも知れないし。あとは、う～ん……各大会1人くらい出そうかなと」

——昔のように選手がズラッと並ぶような風景は無くなるのでしょうか

「多分、ほぼ無いと思います。あとこれは発表されてるのかな？旗揚げ戦は紙テープ OK。旗揚げは景気を上げないといけないんで」

——弓月選手が“ビクトリア弓月”に改名されましたが、その由来は

「ビクトリア女王から取ってます。彼女はトップを目指してほしいから」

——MIRAI 選手、桜井麻衣選手はスターダム時代のキャラクターを引き継いでいくのでしょうか

「まあ、やってる内に変わっていくと思いますけどね。今はまだまだなにもやってないんで。これからも練習を積み重ねていだけなんで」

——石川奈青選手はなぜマリーゴールドと縁が出来たのでしょうか

「石川奈青……なんでですかね？よく分かんないんですけどね。『入りたい』って言って来たんで。来るものは拒まず」

——WWE からの資金援助などはあるのでしょうか

「いやいや、そんなの無いですよ。想像が飛躍しすぎです（笑）まず基本的には興行なり配信なり、色んなことで利益を上げて行かないといけないんで。スポンサーありきで出発して

ると、スポンサーが無くなってしまうと失敗してしまうんで。まず、売り上げをちゃんと出る体制を作ってやっていきたい。その上でプラスでスポンサーが現れればそれはプラスになるだろうし。だからスポンサーありきではないです。スポンサーはいません」

——今後の興行日程に、小川さんにとっては久しぶりの新木場があります。基本に立ち返るという思いがあるのでしょうか

「そうですね。基本というか、たまにはいいんじゃないですか、新木場も。でも全国をやる団体なんで、まあどっかの団体とちょっと被ってくるかなと思って（笑）」

——あのメンバーが新木場で見られるのは相当豪華だと思います

「これもね、『旗揚げ戦は札止めにしよう』とかよく言われるんですけど、始まってもないんで自分は想像つかないです」

——石川奈青選手がマリーゴールドに入るとなると、『奈青ちゃんが入れてもらえるんだったら私も』と考える若い選手も出てくると思います

「もうね、アクトレスもいっぱい来ちゃったし、もうこれ以上入れられないですよ。打ち止めではないけど。まだ何人かいるけど。一番の理想は新人を育成していくこと。今は今で色んな人が集まってやってるんですけど、一番最大の目標は、いかに生え抜きを育成していくか。よそからゲストが来るとかじゃなくて、基本は鎖国というか、自分たちだけでやりたい」